

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



音楽活動にて (こぶし作業所)

特集

町田芳秀さんを偲ぶ

生涯を障害者の福祉向上の先頭にたつて

No.282



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルフ・みらいのページ..... 7 P

町田芳秀さんを偲ぶ

生涯を障害者の福祉向上の先頭にたつて

町田芳秀さんが平成一五年四月に逝去され一年余が経ちました。こぶしの会の歴史を語るときその名を語らずに過ぎることはできません。特に無認可時代と、亡くなるまでの約八年の間は、こぶしの会の事業に積極的にかかわり、厳しくそして暖かいまなざしをもって力を注いでくださいました。今特集では、そうした町田さんのこぶしの会に対しての尽力と、常に障害者の福祉の向上を願い実践してきた姿や人となりを、こぶしの会にゆかりのある方々に思い出とともに綴っていただきながら足跡をたどり、偲びたいと思います。



「こぶしとの出会い」 「はだしの会のポコ」

一九七四年、宇都宮大学での「はだしの会」の大交流会、汗を流し、生き生きとした笑顔の「ポコ町田」との出会いでした。(彼は私が「町田君」と呼ぶのを好まなかったのであえてこう呼ばせて頂きます) 障害を持つ人も持たない人もみんな楽しんで一つの交流会を作っていくという「はだしの会」に彼もわたしもこの時が初めての参加だったように記憶しています。キャンプ、運動会、ハイキング：何度も準備会を重ねて交流会を作り上げる、そんな経験を積みながら彼は「はだしの会」にはなくてはならない存在になっていきました。時期を同じくして全障研やこぶし共同作業所を作る運動にも積極的に取り組んでいました。おそろいのTシャツを着て全障研埼玉大会に行つた時、立って乗った電車の中でぶざけてみんなを笑わせていた姿を今でも思い出します。こぶし共同作業所を作る運動の一つ、オリオン通りでの募金活

動もいつも彼と一緒にでした。寒い日も暑い日も決してへこたれずいつも堂々と訴えていました。常に前向きで自分よりもみんなを考えるポコ町田の姿は、私をはじめ活動にかかわっていた若い人達を揺さぶり育てていったのだと確信しています。

彼との出会いは今こうしてこぶしの会で頑張つて行ける私の原点かも知れません。

セルブ・みらい 矢口 圭子

「ポコの発達論」

あれはたしか、中央大学のサークル「社会保障研究会」の学生がこぶし共同作業所に合宿し、二荒山神社近くのお寿司屋さんで打上会をした時だったと記憶する。

全身性マヒを押して、生まれて初めて箸を使って寿司を自らの口に頬張りみんなの大喝采を受けた。

それ以来、彼は、アルコール(ビール)こそが自らの発達の原動力と決め込んだようだ。

こぶし共同作業所は、障害種別に

拘らず「働きたい」という願いを実現すべく発足した。

そのなかで、ポコは常に知的障害の重い仲間たちに配慮した集団づくりに気をかけていた。

また、「健常者≠差別者」という短絡的思考を批判し、障害者問題を深く、科学的に考えるべきと主張し、自らの行動も律していた。

毎日、朝から晩まで一緒に活動していたポコとの思い出は尽きなし、もつともつと長く障害者運動の先頭に立っていて欲しかったとの想いだけが、一周忌を過ぎた今も湧き上がってくる。

きょうざれん副理事長
リサイクル洗びんセンター所長

菅井 真

「もっとうっかりやってくれよ！」

こぶしの認可後は学校や地域での講演、コンサートの主催、そして無認可時代から続けている詩の同人誌「くさぶえ」の発行に活躍していたことを風の便りに耳にしていた時、ま

こぶし作業所が町田さんに日常的にお世話になっていたのは、な

アルミ缶回収の協力

たこぶしとの付き合いが始まりました。こぶしの仲間たちの日曜作業所(当時買物訓練)の会場で、自宅から車椅子を押して参加し、養護学校の後輩や若い仲間たちに声を掛けてくれたり、時にはおやつを差し入れをしてくれたり。この頃こぶしの会は、けやき作業所分場を「けやき作業所」にしようと、その準備をはじめていました。そして、その取り組みの一つとして「第二回ひろがれコンサート―喜納昌吉―」を計画、町田さんはすんでその実行委員会のメンバーに加わりました。協賛広告の依頼、チラシの配布、チケット販売、実行委員会への参加と精力的に動きまわり、こちらがそのパワーに揺り動かされたほどでした。そしてコンサートは大成功。打ち上げに喜納さんといっしょに飲んだビールの味は「最高!だった」と語っていました。そしてけやきの建設。その後第三回コンサートや生活施設建設委員会にも参加し、障害者を取り巻く状況がよくなるように、こぶしの会が仲間の願いを受けとめ発展するよう積極的な意見を述べてくれました。まだ近くにおいて、「ポコ町田だけど…もっとしつかりやってください」そんな声が聞こえてきそうです。

セルプ・みらい 鈴木 順子

んといつてもアルミ缶回収です。町田さんが、こぶしでアルミ缶を集めているということをお母さんにも伝え、親子でご近所にも声をかけて下さり、毎週トラックが一杯になるほど何年もご協力いただいたことです。そして、初めて町田さんのお宅へ缶をとりに行ったときのこと、今でも忘れられません。自宅前に着くと、二階の自室の窓を開け笑顔を見せ待っていてくれました。門を開け玄関へ向かうと、二階から大きな声で何か話しかけてくるのです。「気を付けて!缶は裏にあるから回って。犬に気を付けて会わないように!」「裏ですね」と呑気に返事をしていると、だんだん町田さんの表情にあせりが見え「早く行って!噛まれるからね!」と言葉にも力が入っていました。確かに表と裏の門に猛犬注意の札が…えらく緊張しながら回収したことを鮮明に覚えています。

こぶし作業所 金田 貢

この街で生きている

この街で生きている
 あたたかい家族の愛につつまれて
 学校にも行けず
 ひとり悲しく窓をながめて
 暮らしてきた私

この街で生きている
 優しい家族の手にささえられて
 友達もなく
 ひとり寂しく壁を見つめて
 過ごしてきた私

この街で生きている
 友のできることを祈りながら

この街で生きている
 生きる喜び求めながら

(わたぼうし障害者年記念
 キャンペーン組曲 入選)

おいたち

- 昭和26年12月30日 栃木県宇都宮市に生まれる
 脳性小児麻痺のため肢体不自由になる
- ◇ 35年12月 栃木県立若草学園入園
 - ◇ 36年4月 同園内宇都宮市立細谷小学校若草分校入学(9才)
 - ◇ 38年3月 若草学園退園・同時在宅(11才)
 - ◇ 39年7月 若草学園通園・同時小学3年に進級(12才)
 - ◇ 42年4月 若草学園退園・栃木県立野沢養護学校転校
 - ◇ 43年3月 栃木県立野沢養護学校卒業(16才)
 - ◇ 43年7月 創立記念中学部作文コンクール代表になる
 - ◇ 46年3月 栃木県立野沢養護学校中学部卒業(19才)
 - ◇ 49年3月 栃木県立野沢養護学校高等部卒業(22才)
 - ◇ 54年12月 こぶし共同作業所づくりに参加
 - ◇ 55年12月 「ポコの日記」出版
 - ◇ 57年3月 わたぼうし障害者年記念キャンペーン組曲に入選「この街で生きている」
 - ◇ 57年5月 下野新聞の「私のうつのみや」に執筆
 - ◇ 57年11月 ラジオジャパンに入選「省エネルギー国日本のこれからの課題」
 - ◇ 58年5月 宇都宮大学公開講座終了
 - ◇ 58年5月 足利ふれあいコンサート入選「外に出てはみませんか」
 - ◇ 58年5月 「ポコの自由日記」出版
 - ◇ 58年5月 同人誌「くさぶえ」年4回発刊
- 平成15年4月13日 死去

こぶし作業所ニュース

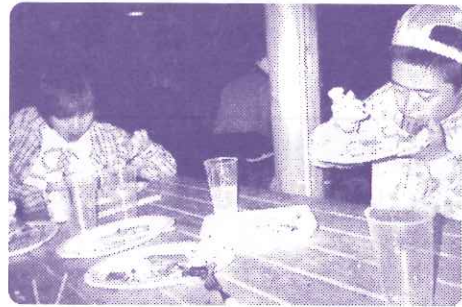
キャンプに行ってきました

9月の3日、4日に1泊2日で、日光の菖蒲が浜へキャンプに行きました。今回のキャンプは、自治会活動として利用者が計画を立てて、実行するということを目標に進めてきました。下見準備、そして当日の活動と、積極的に利用者主体で動くことができたのではないかと思います。当日は台風の影響もありすっきりしない天気でしたが、雨に降られることもなく、みんな元気で帰ってくることができました。これまでの保護者のみなさんに見守られての完璧なキャンプからは、ほど遠いものとなりましたが、自分たちのペースで行い、失敗しながらも満足感を充分味わったようです。

..... 実行委員長 (池田善穂さん) の声

キャンプはよかった。湖がきれいだった。山もきれいだった。湖の奥のほうまで行けたことがよかった。自分の班はバーベキューの火をおこすのに時間がかかってしまい、お腹がすきました。もうご飯が食べられないかなと思った。飯ごうは、ご飯が食べられませんでした。その代わりパンを食べたのでお腹はいっぱいになりました。朝のうどんはおいしかったけど、少し汁がくさかった。もうちょっとあったかい方がよかった。バンガローは2階建てでよかった。あんなところに住みたいなと思った。車椅子でも困ったことはなかった。時間があれば船に乗りたかった。キャンプは大成功でしたが、キャンプファイヤーがなくなったこと(台風の影響)や写真があまり取れなかったのが残念でした。

すごく楽しかったので、みんな来ればいいのになと思いました。来られなかった仲間にお土産を買って帰ればよかったなと思いました。また来年も実行委員長としてキャンプの計画を立てたいと思います。



びっくり市に来てください

こぶし作業所では、月1回問屋町で開かれるフリーマーケット『問屋町びっくり市』に参加してバザー品等の販売を行っています。開催されるのは毎月第4日曜日。こぶし以外にもさまざまなお店が出店しています。衣料品店や金物屋さん、野菜や漬物のお店などたくさん並んでいます。こぶしが販売するのは中古・新品をふくめた衣料品、アクセサリー、食器、雑貨やシューズ、タオルなどですが、他より段違いに安いので評判です。会場ではバンド演奏、あるいはお神輿や太鼓(やらない月もあります)などのアトラクションもあり、飲食店の屋台も多数出ているので、小さなお子様からご年配の方にも十分楽しめると思います。初めての方もどうぞお気軽に遊びに来てください。

※雨天の際は朝6時30分放送のラジオ、栃木放送で開催の確認ができます。

第2けやき作業所 メンバー作品介绍

【作者のひとこと】

「ほのほのした絵がいいな～」という施設長の出してくれた案をみんなの意見と自分の知恵で描き上げました。

【作者プロフィール】

下手の横好きのペンネーム“みえすけ”といいます。遠～い?昔、アニメーターという仕事をしていました。今はのんびり、描きたい時や思いついた時とかに描いています。



お弁当班開始!

今年4月からお弁当班が開始されました。7人の仲間が心を込めてお弁当を作っています。1日約40～50食作っています。皆様のご注文を心からお待ちしております。



8月29日(日)、開催された芳賀花火大会に参加しました。

焼き鳥、串焼き、焼きとうもろこし、カットフルーツなどを出品し、たくさんの収益がありました。出店に対してご協力くださった皆様ありがとうございました。



↑ 8月7日(土)に栃木県子ども科学博物館に遊びに行きました。暑くて大変だったけど、みんな汗かきながら買い物、見学しました。

↓ 8月28日(土)に那須町にある南が丘牧場に遊びに行きました。釣堀や動物の餌付け、バーベキューなどみなさん楽しめました。たくさんのボランティアのみなさんありがとうございました。



今日のホリデイ

県東ライフサポートセンターだより

ほっとCHA

猛暑と言われた夏も過ぎ、少しあつ秋が近づいていることを実感する毎日ですね。ほっとCHAでは、3近所のなし畑を眺めつつ爽やかな秋を実感している今日の頃です。涼しくなったところで、少し活動性があがることでしょうか！挑戦したいこと(じつじつ)と取り組めることを期待していますね。

納涼祭

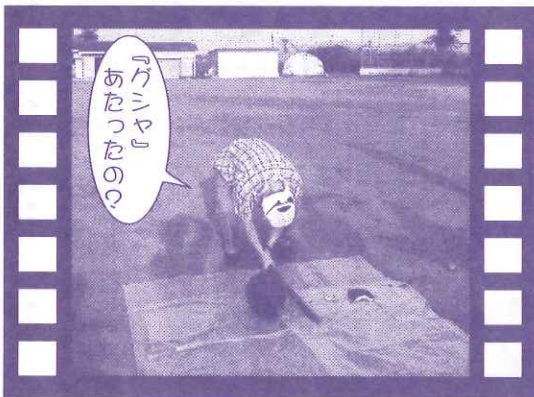
「夏つていいよねえ」「夏といえば花火だよな」と、いうわけで、今年も納涼祭を行いました。夕方から始まり、まずはスイカ割り。「もっと右!」「もっと前!」と声がかかって近くまでいくのですが、あともう一步のところで空振り。んん、なかなか難しい。スイカが割れるのが早いか、食べるのが早いか、みんなでガブツと食べました。今回のスイカはいただいたものです。ありがとうございました。

日も沈み、暗くなってきたら花火。心配していた夕立もなく、夏の夜空に花火が打ちあがりました。花火と一緒にテンションもあがって、まるでキャンプファイヤーのような盛り上がり...(?)ととても楽しい納涼祭になりました。

メンバーさんの声

- もっと花火がしたい。
- 楽しかったです。
- おいしいもの、期待していたんだけど... うくん、うまかった。
- ステーキが食べたい。肉が食べたい。スイカはけっこう食べた。
- スイカ食べすぎた。花火が恐かった。来年またやりたい。
- 花火が盛り上がりました。来年もぜひやってください。楽しかったです。

写真コーナー



納涼祭 スイカ割り

八月連休開所にて

八月一四日ほっとCHAでは、お盆休み中の開所日でした。普段であれば暑い一日をのんびりと過ごして終わることが多いですが、今回はスタッフよりとある企画を提案しました! それは道の駅はがで夜に行われた「第二回子供映画会(盲導犬クイルの一生)」への参加。「クイル」は以前テレビでやっていたこともありほっとCHAではよく話題になったもので、今回も提案に五名のメンバーさんが参加しました。

約二時間の映画に、子供顔負けでじっくりと見入ってしまったのは私だけではなかったことと思います。

終了後に抽選があり、ほっとCHAでは七名中四名が食事券や温泉券などをあて、「ニコニコ顔で帰宅したのは言うまでもありませんが...今後活動の中でちょっとした楽しみがメンバーさんとともに作っていただけたいですね。

ヒーブル

芳賀町役場のすぐ近くにある「社会福祉協議会」は、生活に密着した活動をしているところです。建物の中では配食サービスのご飯作りをしたり学童保育の場所を提供したりとたくさんの方が出入りしています。それだけ街に溶け込んでいる、ということですね。

芳賀町社会福祉協議会では、ホームヘルパーの派遣事業をしています。

介護保険が浸透したので、ホームヘルパーと言えば高齢者の介護、というイメージになりがちですが、障害者の介助にもホームヘルパーは伺います。

「こんなことで困っているんだけど」「誰に相談していいのかわからない」そんなみなさんと一緒に、社会福祉協議会は考えていきます。遠慮しないでご相談ください。

芳賀町社会福祉協議会

中村 久美子さん



みらいニュース



侯川さんへ質問

- Q1. 侯川さんは何班に配属になりましたか？
→弁当班で働いています。
- Q2. みらいに来てよかったことはなんですか？
→友だちがいっぱいいることです。
- Q3. 好きなこと（興味のあること）はなんですか？
→ゲームと映画鑑賞です。
- Q4. 侯川さんの夢はなんですか？
→早く仕事を見つけて一人で暮らしたいです。

※元気いっぱいの侯川さん、どうぞよろしく
お願いします。

みなさん、はじめまして、新
しくみらいに入所した侯川です。
まだ、慣れない部分がありますが、
頑張っていきたいと思えます。
よろしくをお願いします。



八月一七日よりセルプ・みらいにまたまた新しい
仲間を迎えました。一九歳になる侯川涼平さんです。
それでは、侯川さんから自己紹介をお願いします。

新しい仲間が増えました

会計について学習しよう!!

6月29日(火)セルプ・みらいでは、会計学
習会を行いました。

支援費制度・新会計基準に移行し、企業
会計が導入され何がどう変わったのかを具
体的にみらいの職員全員で学習しようとい
うものでした。会計とは何か?については、
会計経験者以外知る由もなく心配でしたが、
初めての人にも分かるようにと講師の方も
配慮して下さったので、大変良かったと思
います。

会計なんて難しくて分からないと敬遠し
ていた人にも、お金のありなし・会計のし
くみだけでなく、日々の活動の記録として
の会計のしくみや役割、帳票の読み方等学
べることがあったのではないかと思います。

「この学習会をきっかけに会計についても
っと知りたくなった。お金のうごきはとも興
味深い」「会計の表は見ても全く意味がわか
らなかったのだが、この学習会で表の見方
が少しでも分かり、すっきりした」などの感
想があげられました。

みらいコーヒーショップ オープン!!

9月からセルプ・みらいでも昼休みのコー
ヒー販売をはじめました。

前々から自治会として喫茶部を立ち上げ
ようという話がでていましたが、なかなか
実現されませんでした。そんなところへユ
ニマットさんのコーヒーの試飲会があり、コー
ヒーマシンを無料お試して1週間貸して
くれたのです。今までインスタントコーヒー
しか飲んでいなかった仲間も本物の味に「コー
ヒーってこんなにおいしかったんだ」。そ
で「毎日飲みたい!」と早速契約しました。

1杯50円で、毎日10杯以上
の売り上げを目指してい
ます。コーヒー作り
と販売は仲間が交代
で行っています。み
らいにお越しの際
は、おいしいコー
ヒーをどうぞ。



僕たちのこと
もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
028-687-1040






こぶし作業所・後援会
ボランティア大募集!

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所
☎028 (662) 1911

休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所
☆県東ライフサポートセンター




ボランティア大募集

セルフみらい

箱折り、リサイクル作業
弁当配達のお手伝い
作業ボランティア
... etc

☆仲間と一緒に
楽しい時間を過ごしましょう☆



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
TEL 028 (613) 5703
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内
TEL 028 (622) 0966
- キッチンセルフ ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- こぶしのときわ荘 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- けやき作業所 デイサービスセンター ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- 県東ライフサポートセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025
TEL 028 (677) 0776
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやきホーム ☎321-4363
- セルフ・みらい ☎321-4363

発行所 郵便番号 270-0053

東京都世田谷区砧六-二六-二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円